

臼杵市末広の上北小学校周辺に、国の特別天然記念物、コウノトリが飛来しました。

臼杵市末広の上北小学校体育館裏に飛来したコウノトリ。足元にちらっと見える青色が、個体を識別する足輪=10月30日午前8時ごろ(小玉照泰さん提供)



## コウノトリ 臼杵に飛来

①兵庫県立コウノトリの郷公園による目撃例は、大分県内での例目でしょう。臼杵のほかはどこでしょう。



みで各1羽発見。茂みにいる個体を撮影した後、調べた結果、コウノトリと分か  
る。宮崎県延岡市で目撃されて  
いる。

青森県から鹿児島県まで幅広く目撃されているところ  
で、県内では2011年の中津市、今年6月の佐伯市に次いで3例目という。  
同公園は「コウノトリの野生復帰を目指しているので、見かけたら餌をやらずに遠くから静かに見守ってほしい」と話している。

### 「餌やらず見守つて」

②コウノトリを見かけたら、どうしたら良いでしょう。

③コウノトリが激減したのは、どうしてでしょう。調べてみよう。

(2013年11月2日朝刊1面)

臼杵市末広の上北小学校周辺に国の特別天然記念物、コウノトリが飛來した。同校の小玉照泰校長が、今年4月に生まれたオス鳥の姿を撮影した。

小玉校長によると、10月30日朝、登校中の児童が「鶴がおる」と口々に騒いだ。登校指導中の教員から報告を受け外に出ると、学校横の田んぼと体育館の裏の茂

繁殖や放鳥が進み、現在全員の野外に75羽いる。各個体には識別番号と番号を示す足輪を付けており、今回見つかったのは、野外で生まれ育った「J0066」。前日の29日には

つた。

兵庫県立コウノトリの郷公園(兵庫県豊岡市)によると、一時野生から姿を消していたコウノトリも近年

つた。